

松下敏幸レクチャー & コンサート

2017

9/23 sat

阿南市文化会館 夢ホール

音を創る

徳島県阿南市富岡町西池田135番地1

9/24 sun

あわぎんホール

(徳島県郷土文化会館)

音を伝える

徳島市藍場町2丁目14番地

両日共に15:00開演(14:30開場)

1.レクチャー

イタリアのクレモナを代表するマエストロ、松下敏幸氏を迎え、弦楽器の歴史や名器ストラディヴァリウスの謎、また弦楽器製作の過程と真に良質な音とは何かについて解説して頂きます。そして、チェリストの藤原真理さんを迎えての演奏、二村英仁さんのストラディヴァリウス楽器での演奏をお聴き下さい。

2.コンサート

コンサートでは、ヨーロッパのコンクールで高い評価を得た松下氏の楽器を、経験豊かな演奏家により、「音」をより深く、楽しく鑑賞して頂きます。

<第1部>

1. ハイドン：弦楽四重奏曲 八長調 Op.76 No.3「皇帝」より第2楽章
2. ルクレール：2つのヴァイオリンのためのソナタ
3. モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための二重奏曲
4. アイルランド民謡：ロンドンデリーの歌(チェロ&ピアノ)
5. パガニーニ：カンタービレ ニ長調 Op.17(ヴァイオリン&ピアノ)
6. ドヴォルザーク：ピアノ五重奏曲第2番 イ長調 Op.81 より第1楽章

<第2部>

1. 千の風になって
2. 見上げてごらん夜の星を
3. エルガー：愛のあいさつ(弦楽四重奏)

出演	松下 敏幸	弦楽器製作者
演奏	浦川 宜也	第1Violin
	浅野 未希	第2Violin
	河野百合名	Viola
	渡邊 辰紀	Cello
	田中美千子	Piano
特別出演	藤原 真理	Cello
	二村 英仁	Violin

チケット/全席自由 ※当日500円増

3,000円・2日間通し券 5,000円

ご購入はお電話でのご予約も承ります/阿南市文化会館、阿南市情報文化センター
あわぎんホール(窓口販売、インターネット販売)、平惣書店(阿南センター店・羽ノ浦店・小松島店・徳島店)
徳島新聞社事業部(徳島新聞各販売店でも取り次ぎます) ※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。

松下敏幸レクチャー&コンサート

Master violinmaker
Toshiyuki Matsushita

このコンサートの主役は「楽器」。あるいは楽器が奏でる「音」です。

一般的には「誰が、何を演奏するか」という点に着目される演奏会に、弦楽器製作者の視点を加えることによって、

音楽を違った角度から鑑賞することを第一の目的としています。

また、デジタル化の現代にあって、人の手による仕事=「ものづくり」の価値、

伝統を受け継いでいくことの大切さを感じてください。

Profile 出演者プロフィール



マエストロ・弦楽器製作者 1957年兵庫県生まれ。
松下 敏幸 1979年より弦楽器製作・修理を志す。1982年イタリア、クレモナに渡る。82年～87年ロンバルディア州立学校、弦楽器修理課程、クレモナ国際ヴァイオリン製作学校卒業。その後、スイス・チューリッヒの音楽店MUSIC HUGにてオールド弦楽器の修復を学ぶ。1998年より国際クレモナ・ヴァイオリン製作学校、マスターコース最終学年に日本人初めてのマエストロ講師として招かれ生徒の指導にあたる。
<受賞歴>1988年クレモナAntonio Stradivari国際製作コンクールにて、ヴァイオリン・チェロそれぞれ銀メダル受賞。1996年アメリカVSAヴァイオリン国際製作コンクールにて、ヴァイオリン優勝ゴールドメダル受賞。2004年パリ国際弦楽器製作コンクールにて、ヴァイオリン音響最優秀賞受賞、同じくヴァイオリン2位銀メダル受賞。2006年クレモナAntonio

Stradivari国際製作コンクールにて、ヴァイオリン2位銀メダル受賞。
その製作された楽器には、アマテ、ガルネリ、ストラディヴァリをはじめとする古典イタリアン弦楽器への深い研究の成果が反映されており、音色の明るさと豊富な倍音の魅力が日本を始め欧米で高い評価を得ている。
現在までに修理・調整した代表的な楽器は、アントニオ・ストラディヴァリ、「PARK」1717年、同じく「LEDY LEY」1713年、及びジョゼフ・ガルネリ・デル・ジェズ「JEAN BECKER」1732年、ジョゼフ・ガルネリ1689年の銘器が上げられる。
2005年NHKハイビジョンBS番組、「遠くにおいてにっぽん人」『ストラディヴァリを越えたい』～イタリア松下敏幸編～が全国放送、2007年には資生堂提供スペシャル番組、「美を紡ぐ人～今を生きるあなたへ～」がTBSで放送され、益々意欲的に製作活動を行っている。



第1Violin
浦川宜也

1940年東京生まれ。13歳で第22回音楽コンクール入賞、近衛秀磨氏に認められ、チャイコフスキーの協奏曲でデビュー。東京藝術大学附属高校で井上武雄氏、J.イスマール女史に師事。1959年西ドイツ政府DAAD奨学生として渡独。西ベルリンでM.シュヴァルベ氏に師事。1961年ミュンヘン国立音大に入学、W.シュトロス教授に師事。64年首席卒業。1965年大指揮者J.カイルバルト氏に認められ、バンベルク交響楽団第1コンサートマスターに就任。ソリストとして独立、1981年帰国、東京藝術大学教授へ。バルトーク無伴奏、4大協奏曲、ベートーヴェン、ブラームスのソナタ全曲、J.S.バッハとモーツァルトの作品収録を成し遂げる。2008年東京藝術大学を定年退職。東京音楽大学大学院客員教授。現在、東京藝術大学名誉教授。

所有楽器は、松下ヴァイオリン2004年製作"ARCO" 2010年製作"AMADEUS"



第2Violin
浅野未希

東京藝術大学音楽学部別科修了、国費留学生としてハンガリー国立リスト音楽院修了。岩井倫郎、砂野朱美、三上徹、浦川宜也、瀬戸瑠子、Kömlös Péter、Rásonyi Leila、Szabadi Vilmos、Somogyi Péter各氏に師事。第37回全四国音楽コンクール弦楽器部門最優秀賞。ルーマニア国立放送室内管弦楽団、ロシア国立Boyanオーケストラと共演。ハンガリー・サヴァリア管弦楽団、Maja弦楽合奏団の奏者として「ブダペスト春の音楽祭」「ラフォル・ジュレネ音楽祭」等に出演。ドイツ・ゲヴァントハウス弦楽四重奏団奏者、ベルリンコンツェルトハウス管弦楽団奏者との室内楽公演。国内外各地でソロコンサートを開催。日本弦楽指導者協会会員。コンクールの審査員を務める。

所有楽器は、松下ヴァイオリン2011年製作"PASSIONE"



Viola
河野百合名

4歳よりヴァイオリンをはじめ、6歳より渡米。南カリフォルニア音楽祭銀賞。帰国後菊里高校音楽科を経て東京音楽大学卒業。在学中特待奨学生に選ばれ、ソロ定期演奏会、アンサンブル演奏会に出演。第8回日本アンサンブルコンクール優秀賞、全音楽譜出版社賞受賞。ヴァイオリンをBill Kennedy、森下陽子、清水高師、海野義雄の各氏に師事。大学卒業後ヴァイオラへ転向。各都市の交響楽団への出演多数、アルゲリッチ音楽祭には、ミンヤ・マイスキー、マルタ・アルゲリッチらと共演する。活躍はクラシックにとどまらず、他多数アーティストとのライブサポート演奏、PV出演、TV出演の他、映画、ドラマ、CM等の劇版音楽のレコーディング等に参加している。

所有楽器は、松下ヴァイオリン2001年製作"EIME"



Cello
渡邊辰紀

5歳より才能教育研究会にてヴァイオリンを始める。その後チェロに転向。パブロ・カザルスの弟子、故佐藤良雄氏のもとで手ほどきを受ける。東京藝術大学に進学、在学中は「安宅賞」を受賞、日本音楽コンクールに入賞する。その後ドイツへ留学。ヒツツァ音楽祭で初演奏。「観客賞」を受賞。ドイツ国家演奏家試験でフリードリッヒ・グルダのチェロ協奏曲を演奏し特別賞を得る。同時に北西ドイツフィルハーモニーにソロ・チェリストとして入団。10年間在籍、「ドイツ国家室内楽演奏家」の称号を得る。2006年帰国、東京フィルハーモニーに首席チェリストとして入団。オーケストラはもとより、ソロ、室内楽、そして内外の一流ジャズミュージシャン達と共演する等多様な演奏活動は高く評価されている。

所有楽器は、Paolo Scarpella 1865年製作



Piano
田中美千子

東京藝術大学附属音楽高校、同大学及び大学院修士課程修了。1992年ドレスデン音楽大学留学。1994年同大学院を最優秀で修了後、同大学で2年間非常勤講師を務める。1995年東京と名古屋にてデビュー・リサイタルを開催し、好評を博す。1996年5月、ドイツ器楽国際コンクールにて公式伴奏者を務め、最優秀伴奏者賞受賞。同年8月帰国。現在に至るまでリサイタルの他、2006年からは「浦川宜也&田中美千子室内楽シリーズ」を開催。これまでアポロン弦楽四重奏団、ターリッヒ弦楽四重奏団、木管五重奏団「クインテット・ウィーン」又、多くのソリストと共演する。1997～2004年東京藝術大学大学院室内楽科助手及び非常勤講師を務める。現在、上野学園大学教授。

所有楽器は、ジョゼフ・ガルネリウス1689年製作



Cello
藤原真理

大阪生まれ。1959年に桐朋学園「子供のための音楽教室」に入学し、以後15年間、チェリスト斎藤秀雄に師事する。1971年第40回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位および大賞を受賞。1975年デビュー・リサイタルを行い、芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。1976年フルニエ、ロストロポーヴィチ両氏に師事。1978年第6回チャイコフスキー国際コンクールにて第2位受賞。以後、ベートーヴェン・チェロソナタ全曲演奏会、パッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会、カントロフ、メンデルスゾーン、ルヴィエとのピアノ四重奏演奏会など、日本を代表するチェリストとして国内外で活躍。近年、NHK「エジプト文明母なる大河ナイル」を始め、多数テレビ出演。2014年J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲をリリースする。

所有楽器は、ジョゼフ・ガルネリウス1689年製作



Violin
二村英仁

9歳から16歳まで毎夏渡米し、ジュリアード音楽院の故ディレイ女史に個人教授を受ける。東京藝術大学附属高校を経て同大学卒業。1994年バガニーニ国際コンクール第2位。1995年日本国際音楽コンクール第1位。その他幼少の頃よりコンクールにて優勝。1996年出光音楽賞受賞。紛争地での活動など多くの社会貢献が認められ、1998年国連より日本人初の「UNESCO平和芸術家」に任命された。多数のテレビ・雑誌等のメディアに取り上げられた他、国内主要オーケストラをはじめ、海外オーケストラとの数多くのコンチェルト共演を重ね、華々しいキャリアを築く一方で、音楽を通じて社会貢献活動に取り組んでいる。

所有楽器は、ストラディヴァリウス1707年製作"STELLA"